

平成25年度入学試験問題（帰国子女特別入試）

## 小 論 文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

### 注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

ブラジルやアメリカ合衆国などでは、主にサトウキビ、トウモロコシなどの農作物を発酵・蒸留して生産されたバイオエタノールが自動車燃料として実用化され、化石燃料消費の低減に貢献している。また、食糧と競合しない農作物の残<sup>ざんざい</sup>渣、稲わら、麦わらなどの農業廃棄物や森林の間伐材、林地残材<sup>ざんざい</sup>（枝、葉など）、廃材など木質系バイオマスを利用したバイオエタノール生産の開発も進められている。しかし、このような動きは、食糧と競合する農産物がバイオエタノールの原料として大量に使われていることを意味している。この現状がこのまま続くと、人類にとって重要な食糧の確保、生態系、水資源、土壌の貧栄養化、農地・森林などの土地利用の改変などに大きな影響を与えることになると考えられる。

上記の論点を踏まえて、わが国を含めて世界規模で進められているバイオエタノールの生産が農業生産に与える影響、環境や生態系との調和、将来のエネルギー生産と食糧生産の在り方について 600 字以上、800 字以内であなたの考えを記述しなさい。

平成25年度入学試験問題（帰国子女特別入試）

## 小 論 文

農学部 亜熱帯農林環境科学科

### 出題の意図

バイオエタノールの生産に関わる食糧，環境，生態系あるいは社会的影響に及ぼす問題事例を挙げて，受験者の問題意識の有無を把握する目的で問題を作成した。本学科は，環境科学と接点をもつ農学分野を受けもつ学科であることから，農業と環境の関係について問う問題とした。農学部のアドミッションポリシーには，農学の使命として「安全で安定的な食料生産をはじめ，環境保全にある」とされており，このアドミッションポリシーに沿った農業生産と環境問題に関する関心の高さをみる問題である。